



# 国際協力

2025.4  
春号  
No.83  
JICA 駒ヶ根

## 2024年度3次隊、世界35カ国へ旅立ちます!!



訓練所が真っ白な雪景色に染まった3月19日(水)、2024年度3次隊の修了式が執り行われ、132名の訓練生が派遣前訓練を修了しました。

訓練生代表の言葉を述べた杉尾理沙さん(セネガル/看護師)は、派遣予定のセネガルのことわざ「Nit nitay garabam(人こそが人の業である)」を引用し、派遣国で困難に直面した時には、世界のどこかで同じように奮闘している仲間がいることを忘れずに、支え合いながら共に乗り越えていきましょうと決意の言葉を述べました。

今隊次は冬季の訓練にも関わらず、感染症の流行はなく、多様な自主講座が開催されていました。2年後、全員が無事に帰国し、また元気な姿を見せてくれることを訓練所スタッフ一同、心から願っております。

どうかお元気で、行ってらっしゃい!!

現在派遣中のJICA海外協力隊員は1,751名、派遣国数は74カ国です。(2025年1月末時点)



## 駒ヶ根訓練所 所長交代のご挨拶

### 離任のご挨拶

前所長 きむら たくさぶろう 木村 卓三郎

2023年10月15日に駒ヶ根に来てから、あっという間の1年半でした。着任直後に3次隊の訓練が開始され、入所2週間目に所内でインフルエンザの集団感染が発生し、115名中、30名近い方々の療養対応に追われた際には、危機感と同時に命を預かる責任の大きさを実感しました。

外向きには、地域と訓練所の関係構築に尽力し、コロナ禍で止まっていた様々な活動回復を目指し、とにかく多くの方に訓練所に来てもらい、海外協力隊事業の復活と訓練所の姿を知ってもらうことが、訓練所の社会貢献との思いで取り組んできました。職務とは言え、慣れない渉外活動を続ける原動力となったのは、言うまでもなく全国から訓練所に集まる素晴らしい訓練生と、彼らとの交流を大切にしてください地域の方の姿でした。

海外協力隊事業も60周年を迎える中で、駒ヶ根訓練所が地域の皆様とともに益々発展して、一層の社会貢献を果たすことを願っています。



二本松訓練所でインドネシア語を学んだエディザル先生と30年ぶりに再会。

### 着任のご挨拶

所長 よこた たかひろ 横田 隆浩

美しいアルプス山脈に抱かれた、歴史ある駒ヶ根訓練所に着任できることを大変光栄に思います。

私自身も協力隊出身で協力隊に参加するにあたり、駒ヶ根訓練所での訓練を経て任国に赴任したことが懐かしく思い出されます。当時は一訓練生として、全国から集まった同期の仲間と、美しい自然に囲まれた訓練所で春から初夏にかけて任国への準備を行う立場でした。協力隊員は、個々の発意から応募しますが訓練期間に駒ヶ根という地を巡り、地域の方々とも触れ合う機会を得る中で、協力隊員が派遣されるには、様々な方々に支えて頂いていることも訓練を通じて改めて認識する機会にもなり、駒ヶ根は忘れない思い出の地となっております。

時を経て駒ヶ根の地で勤務する機会をいただき、今度は報恩感謝の思いとともに改めて地域を知り、国際協力人材の輩出拠点としての駒ヶ根訓練所の使命を果たせるよう、精進していきたく思います。よろしく願いいたします。



2024年度  
3次隊

# 長野県出身JICA海外協力隊員

行ってきます!!



にしざわ みさと  
**西沢 実里**  
〈松本市出身〉

派遣国/カンボジア  
職 種/看護師  
▶カンボジアのコンポンチャム州病院で、5Sや感染管理などの支援を行う予定です。現地のスタッフの価値観を尊重しながら協力して課題に取り組んでいきたいです。安全な職場環境や、看護の質の向上のサポートができるよう頑張ります。



こばやし  
**小林みなみ**  
〈青木村出身〉

派遣国/ベトナム  
職 種/幼児教育

▶幼児教育で幼稚園に派遣されます。子どもたちが活き活き!伸び伸び!過ごせるように願い、風土や文化に合った環境を提供、保育していきたいと思っています。また、任地の職員と一緒に保育・教育の質向上を目指します!



おおた としあき  
**太田 智明**  
〈中野市出身〉

派遣国/マーシャル  
職 種/小学校教育

▶どうすれば子どもたちにもっと算数の力を付けてあげられるのか...と、現地の先生方が困っておられるようなので、その現場に飛び込んで共に悩み考えて、協働する中から何か少しでも前進できたらいいなと思っています。



こもり ともき  
**小森 智己**  
〈上田市出身〉

派遣国/マラウイ  
職 種/PCインストラクター

▶世界最貧国の一つと言われるマラウイの商業都市、ブランタイヤの中等高等学校で、PCに関する授業と指導方法の改善を行います。現地の先生方と協力し、生徒のキャリアの土台となる知識を提供できるよう精一杯頑張ります!



おび かずおき  
**小尾 一起**  
〈茅野市出身〉

派遣国/マレーシア  
職 種/工作機械

▶マレーシア、ペナン市の高専に派遣され、工作機械の技術指導を行う予定です。現地のエンジニア育成と同時に日系企業との繋がりを構築し、日本とマレーシア両国の架け橋になれるよう頑張ります。



ふしみ しんのすけ  
**伏見 新之介**  
〈安曇野市出身〉

派遣国/コロンビア  
職 種/青少年活動

▶私の活動は首都ボゴタで、学生や現地住民を対象に日本語や日本文化を教えることです。異文化交流の場では、「日本」を一方向的に伝えるのではなく、「コロンビアと日本」が互いに思いを分かち合える双方向の交流を目指したいと考えています。



たけうち あすさ  
**竹内 梓**  
〈安曇野市出身〉

派遣国/トンガ  
職 種/番組制作

▶トンガの国立放送局で2年間活動します。撮影や編集をはじめとする幅広い実務経験を活かし、番組制作や報道の発展に貢献できるよう努めます。放送文化を支え、視聴者の生活をより豊かにする番組作りを目指します。

# 高校生2025 体験入隊

初の試みとなる「高校生体験入隊」が2月22日(土)に開催されました。中学生体験入隊に続く、「駒ヶ根協力隊を育てる会」との共同イベントです。第1回目の今回は長野市や岡谷市などから10名の高校生が参加し、派遣前訓練中の訓練生との交流やワークショップ等のプログラムを通して将来のキャリアプランを描きました。

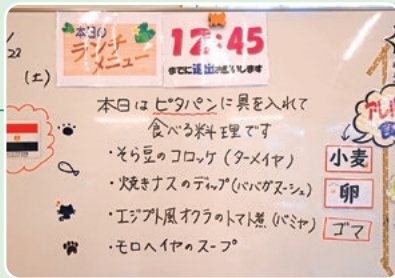


## 8:20~ 開会式、協力隊講座、施設見学

協力隊講座では、国際協力の意義や協力隊の活動内容・訓練所の業務などについて知識を深め、施設見学では訓練所内やVRルームを見学し協力隊派遣国の様子や隊員が見た世界を体験しました。

## 10:00~ ワークショップ① 協力隊シミュレーション

海外協力隊が派遣されている国の課題についてグループディスカッションし、自分にできることと相手国が求めていることを照らし合わせながら「自分が協力隊員になったらどんな活動をするか」シミュレーションすることで、協力隊活動への理解を深めました。



## 12:30~ エスニックランチで昼食

今日のメニューはエジプト料理。パバガナーシュ(焼茄子のディップ)やターメイヤ(そら豆のコロッケ)を生野菜と一緒にピタパンに挟んでいただきます。

## 13:00~ 訓練生との交流・意見交換

「20歳のとき何してた?」「夢は何だった?」「高校・大学では何をすればいい?」訓練生との対話を通して、自分の将来に対する漠然とした思いや不安を言葉にして、20歳の自分をイメージしました。



## 14:30~ ワークショップ② 世界と関わる生き方って?

今日一日の学びや気づきをまとめます。「国際関係の仕事に就くために、色々なことを吸収して学び、挑戦し成長しつづけていきたい」「将来は、母子保健の分野で国際協力に参加したい」「沢山のことを経験して、視野の広い大人になりたい」など、各々が世界と関わる生き方について考えた素晴らしい時間でした。

## 15:30~ 発表会・講評・閉会

高校生体験入隊は、参加した高校生が自分のやりたいことに向けて何かしらはじめてもらえるような、それぞれがワンステップレベルアップするようなイベントになればと企画されたものです。様々な場面で高校生から訓練生に問いかけていたまっすぐな質問に、大人としても背筋が伸びる思いがしました。



# ありがとう!! SBCラジオ「地球色の窓を開けよう」

毎月第4土曜日に放送していた「つれづれ散歩道」内のコーナー「地球色の窓を開けよう」は、2025年3月をもって終了いたしました。これまで数多くの協力隊OG・OBの皆さまに生出演いただき貴重な体験談をお話いただいたことに心より感謝申し上げます。コーナーの立ち上げにご尽力いただいた協力隊OBで信越放送ラジオ局編成制作部の清沢康夫さんと、つれづれ散歩道の番組パーソナリティーである武田徹さんからメッセージをお寄せいただきました。

17年間、放送局で勤務した後、青年海外協力隊員としてパプアニューギニア国営放送局・東ニューブリテン州支局に配属され、任国の人々とラジオ番組の取材制作にあたりました。私同様、世界各地で様々な知見を得た隊員OBOGの皆様の言葉を、駒ヶ根のある信州の皆様に広く発信したいという思いから、復職した会社で本コーナーを立ち上げました。ご出演頂いた皆様、ご支援頂いたJICA駒ヶ根の皆様にご心より御礼申し上げます。

2003年度3次隊 きよさわ やすお  
パプアニューギニア/視聴覚教育 清沢 康夫



皆さんから毎月番組でお話を伺うのが楽しみでした。強い信念と、抜群の行動力を発揮し、海外で人々の生活向上を目指して活動された皆さんの体験談は、私は勿論、お聞きの皆さんに大いなる共感と日本人としての誇りを感じさせて下さったことと思います。

気候変動と戦争の勃発によってパラダイム・シフトを迎える地球で、皆さんの活動はますます重要になると確信しています。12年もの長期間にわたりお付き合いを頂き、ありがとうございました。

たけだ とおる  
つれづれ散歩道 武田 徹

ミックスプラスは続きます!

2025年春募集受付中

人生なんてきっかけひとつ。



いつか世界を変える力になる

## JICA海外協力隊

募集期間：3月21日(金)～5月9日(金)正午締切  
募集資格：20歳～69歳までの日本国籍を持つ方

※詳細はJICA海外協力隊HPをご確認ください



JOCV HP



LINE



Instagram



相談窓口

### NEW スタッフ紹介



広報担当

かわかみ あや  
河上 彩

2019年度3次隊で青少年活動として、ウズベキスタンに派遣されておりました。

ウズベキスタンでの活動終了後、地元企業に勤務し、3月よりご縁があり駒ヶ根訓練所で広報業務を担当しています。これから、様々な方々に協力隊事業・駒ヶ根訓練所について知っていただけるよう精進してまいります。よろしくお祈りします!



訓練担当

まえどころ まりえ  
前所 麻里江

2月より駒ヶ根訓練所に勤務しております。協力隊の経験は、エルサルバドル・音楽です。市役所が開催する音楽クラスにて、子どもから大人まで多くの人と音楽活動を行いました。

訓練所では、訓練生のみなさんが安心して過ごすことができるようにサポートしていきたいと思えます。どうぞ、よろしくお祈りします!

毎月SBCラジオ  
に出演中!

長野県の協力隊OB・OG、出発前隊員、駒ヶ根訓練所スタッフがSBC信越放送に出演し、協力隊体験談や派遣国の思い出の一曲などを紹介しています。

第3月曜日 13:13 ~ 13:30

【ミックス プラス】内のコーナー「協力隊と巡る音楽世界旅行」

皆さま是非  
お聴きください!



SBCラジオHP

2024年度 駒ヶ根訓練所 派遣前訓練人数実績

1次隊:165名修了、2次隊:182名修了、3次隊:132名修了



2025年、  
JICA 海外協力隊事業は  
60周年を迎えました!

JICA KOMAGANE  
Home page



facebook



発行 独立行政法人 国際協力機構  
駒ヶ根青年海外協力隊訓練所

〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂15  
TEL.0265-82-6151代 FAX.0265-82-5336  
E-mail jicakjv@jica.go.jp